

東京工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	日本語	
科目基礎情報							
科目番号	0142			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	電気工学科			対象学年	3		
開設期	後期			週時間数	後期:30		
教科書/教材	プリントを配布する。						
担当教員	青野 順也						
到達目標							
1.日本語の語彙・表現についての理解を深めていき、適切な手紙・メールを書くことができるようになる。 2.他者の意見を聞く際の態度に加え、自己の意見を主張する際に必要な表現力を身につけ、日本語によるコミュニケーション力を高めていく。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	漢字・敬語などを正確に用いて、手紙やメールの文面を作成できる。			敬語などを正確に用いて、手紙やメールの文面を作成できる。		漢字・敬語などの仕組みを理解できず、手紙やメールの文面を作成できない。	
評価項目2	他者の意見をよく聞き、自己の意見を効果的に伝えることができる。			自己の意見を他者に効果的に伝えることができる。		他者の意見を聞く際の態度がどのようなものか分からず、自己の意見をうまく伝えられない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	この授業では、日本で生活していく際に必要な日本語能力を高めていくことを目標とし、電話応対やメールの文面など、さまざまな場面での日本語使用の紹介と実践とをおこなっていく。また、日本文化の特徴についても講じていくので、日本の歴史や文化・社会について説明できるようになってほしい。						
授業の進め方・方法	講義形式で進めていくが、意見を求めることが多くなる。失敗を恐れることなく積極的に参加してほしい。						
注意点	予習よりも復習に重点を置き、継続的に学習していくこと。また、疑問点を残さないようにすること。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	メールの文章1		相手に対して失礼のないメールの文面を作成できる。		
		2週	メールの文章2		相手に対して失礼のないメールの文面を作成できる。		
		3週	日本語とコミュニケーション1		相手との距離感を適度に保ったコミュニケーションとはどのようなものかを説明できる。		
		4週	日本語とコミュニケーション2		相手との距離感を適度に保ったコミュニケーションとはどのようなものかを説明できる。		
		5週	日本語とコミュニケーション3		相手との距離感を適度に保ったコミュニケーションとはどのようなものかを説明できる。		
		6週	日本語とコミュニケーション4		自己の意見を主張する際に注意すべき点を説明できる。		
		7週	日本語とコミュニケーション5		自己の意見を主張する際に注意すべき点を説明できる。		
		8週	日本語の表記と発音1		日本語における文字と発音の関係について説明できる。		
	4thQ	9週	日本語の表記と発音2		日本語における文字と発音の関係について説明できる。		
		10週	日本語の表記と発音3		日本語における文字と発音の関係について説明できる。		
		11週	日本文化の特徴1		日本の歴史と文化について説明できる。		
		12週	日本文化の特徴2		日本の歴史と文化について説明できる。		
		13週	日本文化の特徴3		日本の歴史と文化について説明できる。		
		14週	一年間のまとめ		一年間の学習をふりかえり、学年末試験に備える。		
		15週	学年末試験		これまでの学習をふまえ、設問に対して正確に答える。		
		16週	学年末試験 返却と解説		返却された答案をよく見直して今後の日本語学習の目標を確立する。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0